

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 高速LRC用オイル
製品コード : SX115565
供給者の会社名 : 日酸TANAKA株式会社
住 所 : 埼玉県入間郡三芳町竹間沢11番地
担当部門 : FA事業部 国内営業部
連絡先(電話番号) : 049 (258) 4412
緊急連絡先 : 同上

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

本製品は、化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS）に基づく危険有害性ではない。

他の有害危険性

データなし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 化学物質

化学名又は一般名: ジメチルシロキサン

CASRN: 63148-62-9

GHS(世界調和システム) によれば危険有害性成分は含まれていない

A507039 

4. 応急措置

必要な応急措置

一般的アドバイス:

ばく露する可能性がある場合は、第 8 項の保護具の情報を参照。

吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸を快適に保つ。医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合: 多量の水で洗い流す。

眼に入った場合: 数分間目を徹底的に水で洗い流す。1~2 分洗眼してからコンタクトレンズをはずし、さらに数分洗い続ける。症状があれば、医師の診察を受ける。眼科医が望ましい。

飲み込んだ場合: 口を水ですすぐ。緊急医療措置は必要ない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状:

上記の応急措置の記述、下記の緊急治療及び必要とされる特別処置の指示に記載されている情報に加えて、重要な症状や影響は項目 11 の有害性情報に記載されている。

緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

医師に対する特別な注意事項: 特別な解毒剤はない。ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤: 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素 (CO2)、粉末消火剤。

使ってはならない消火剤: 知見なし。.

特有の危険有害性

有害燃焼副産物: 炭素酸化物、ケイ素酸化物。

異常な火災および爆発の危険: 燃焼生成物への曝露は健康に害を及ぼす場合がある。.

消防士へのアドバイス

消火手順: 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。区域から退避させること。火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。.

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。

消火を行う者の保護: 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。保護具を使用する。.

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 安全な取り扱いの助言や、個人保護具の推奨事項に従う。

環境に対する注意事項: 環境への放出は必ず避けなければならない。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。広範囲に広まるのを防ぐ(封じ込めまたはオイルバリアなどによる)。汚染された洗浄水を保管し、処分する。流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 不活性な吸収材で吸収させる。適切な吸収剤を使用して、漏洩物を除去すること。本製品を放出、廃棄する際には、各地方自治体および国の規則に従って処理すること。その放出に使用された物質についても同様である。どの規則が適用されるかを確認する必要がある。多量にこぼれた場合、防液堤を築く等の適切な封じ込め手段を講じて、広がらないようにすること。防液堤に使用した資材をポンプで吸い上げることができる場合には、回収した物質を適切な容器内に保管する。

以下の項目を参照のこと: 7、8、11、12 および 13

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。空容器は危険有害性。空容器の内部には残留物質が存在するので、容器が空になった後も、(M)SDS および警告表示をすべて遵守すること。適切な換気装置の下でのみ使用する。ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。

保管: 適切なラベルのついた容器に入れておく。各国の規定に従って保管する。

次の製品種類と一しょに保管しない: 強酸化剤。
容器に不適な素材: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ばく露限界値が存在する場合は以下に記載されている。ばく露限界が表示されていない場合は適用しない。

ばく露防止

設備対策: 局所排気装置や他の排気装置を使用して、気中濃度が許容濃度や管理濃度より低くなるように管理する。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、通常の作業は全体換気を行うことで十分である。一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具: 許容濃度や管理濃度を超える可能性がある場合、呼吸器保護具を着用すること。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、呼吸器刺激や不快感等がある場合、又はリスク評価において必要であると示された時、呼吸器保護具を着用する。ほとんどの場合、呼吸用保護具は必要ない。ただし、換気が悪く高温で取り扱う時は、認可された空気清浄呼吸器を使用する。

以下は効果的な空気清浄呼吸器の種類である：有機ガス用
 手の保護具：長時間または何度も繰り返し接触する可能性がある場合は、この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ブチルゴム。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム(ニトリルまたはNBR)。エチルビニルアルコールラミネート(EVAL)。ポリ塩化ビニル(PVCまたはビニル)。天然ゴム(ラテックス)。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件(切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護)、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。
 眼の保護具：安全メガネ(サイドシールド付)を着用する。
 皮膚及び身体の保護具：清潔で、長袖の、全身を覆う衣服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色
臭い	特徴的
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
融点／凝固点	
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	
沸点(760 mmHg)	> 35 °C
引火点	密閉式引火点試験 >120 °C クリーブランド開放式引火点試験 >250.00 °C
蒸発速度(ブチルセート=1)	データなし
可燃性	
可燃性(固体、気体)	非該当
可燃性(液体)	可燃性(引火点参照)
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発範囲の下限	データなし
爆発範囲の上限	データなし
蒸気圧	データなし
相対ガス密度	
相対蒸気密度(空気=1)	データなし
密度及び／又は相対密度	
比重・相対密度(水=1)	0.97
溶解度	
水への溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	データなし

自然発火点	データなし
分解温度	データなし
動粘性率	350 cSt @ 25 ° C
爆発特性	非爆発性
酸化特性	本製品は酸化性物質としては分類されない。
分子量	データなし
粒子特性	
粒子サイズ	非該当

注記： 上記の物理データは、代表値であり、仕様として解釈されるべきものではない。

10. 安定性及び反応性

反応性：反応性危険としては分類されない。

化学的安定性：通常の状態では安定。

危険有害反応可能性：強い酸化剤と反応することがある。 150 ° C (300 ° F)を超える温度まで空気中で加熱されると、微量のホルムアルデヒドが放出されることがある。 適切な換気を要する。

避けるべき条件：知見なし。

混触危険物質：酸化剤との接触は避ける。

危険有害な分解生成物：

分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない： ホルムアルデヒド。

11. 有害性情報

本項にはデータが存在する場合に毒性情報が記載される。

可能性のある暴露経路の情報

吸入，眼に入った場合，皮膚接触，飲み込んだ場合。

急性毒性（即時影響を及ぼす短期間ばく露を示す。特に断りのない限り慢性／遅延影響は見られない。）

急性毒性エンドポイント：

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

急性毒性（経口）

製品情報：

誤飲した場合でも、毒性は非常に低い。 少量を誤飲しても有害な影響があるとは予見されない。

製品の試験に基づく：
LD50, ラット, > 48,500 mg/kg

急性毒性（経皮）

製品情報：

長時間の皮膚接触で、有害量を吸収することはないであろう。

製品の試験に基づく：
LD50, ウサギ, > 2,000 mg/kg この濃度では死に至らない。

急性毒性（吸入）

製品情報：

室温では、揮発性が低いので蒸気暴露は非常に少ない。加熱された物質から発生した蒸気又はミストにより、呼吸器を刺激することがある。

製品として。LC50 は決められていない。

皮膚腐食性／刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品情報：

製品の試験に基づく：
短時間接触では、本質的に皮膚刺激性がない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品情報：

製品の試験に基づく：
軽度の一過性眼刺激作用を起こすことがある。
角膜損傷は起こらないであろう。
眼に弱い不快感を認めることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性：

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性：

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品情報：

皮膚感作性:

モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

呼吸器感作性:

関連のある情報は得られていない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品情報:

製品としての試験データは得られていない。

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品情報:

物性上、誤えん有害性は低い。

慢性毒性（反復投与による慢性／遅延影響を及ぼす長期間ばく露を示す。特に断りのない限り即時影響は見られない。）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品情報:

製品としての試験データは得られていない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品情報:

製品としての試験データは得られていない。

催奇形性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品情報:

製品としての試験データは得られていない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品情報:

製品としての試験データは得られていない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品情報:

製品としての試験データは得られていない。

12. 環境影響情報

本項にはデータが存在する場合に生態毒性情報が記載される。

生態毒性

魚類に対する急性毒性

物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

LC50, 魚類, 96 h, > 100 mg/l

無脊椎動物に対する急性毒性

EC50, *Daphnia magna* (オオミジンコ), 48 h, > 100 mg/l

藻類/水生植物に対する急性毒性

EC50, 藻類, 14 d, > 2,000 mg/l

水生環境有害性 長期 (慢性)

魚類に対する慢性毒性

最大無影響濃度, *Cyprinodon variegatus* (シーブスヘッドミノー), 33 d, 91 mg/l

地上生物に対する毒性

物質は事実上、鳥に対して急性毒性を示さない(LD50 > 2000 mg/kg)。

経口 LD50, *Colinus virginianus* (コリンウズラ), > 5,000 mg/kg

残留性・分解性

生分解性: 本品は、生分解性ではない。

生体蓄積性

生体蓄積性: 分子量が比較的大きい(MW1000 超)ため、生物濃縮は起こらないと考えられる。

土壤中の移動性

土壤中移動性は比較的小さいと考えられる。(Koc>5000)

オゾン層への有害性

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄方法:「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び地方条令に定められた方法に従って、焼却等の処理を行う。委託する場合は、許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装: 廃容器は内容物を十分除去した後に、法規に従い廃棄する。

14. 輸送上の注意

道路及び鉄道輸送に関する分類 (ADR/RID) :

Not regulated for transport

海上輸送に関する分類 (IMO-IMDG) :

Not regulated for transport

MARPOL 73/78 の Annex I

Consult IMO regulations before transporting ocean bulk

または II および IBC また

は IGC コードに従い積荷を

運搬する。

航空輸送に関する分類 (IATA/ICA0) :

Not regulated for transport

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送は、消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法令に定められた運送方法に従う。海上輸送は、船舶安全法に従う。航空輸送は、航空法に従う。

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。輸送分類は容器の大きさや国や地域の法令により異なることがあります。追加情報は、弊社の営業担当者またはカスタマーサービスより入手してください。この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

15. 適用法令

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

化審法 - 既存化学物質及び新規化学物質リスト (ENCS)

意図の使用成分はすべてインベントリー収載済みないし収載免除ないし供給元認証となっている。

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

消防法

指定可燃物, 可燃性液体類, (指定数量 2 立方メートル), 火気厳禁
シリコーンオイル

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
産業廃棄物

16. その他の情報

改訂

ID 番号 : 99183122 / A151 / 発行日 : 2022/02/13 / 版番号 : 4.1

その他の略語の全文

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存および新規化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 化学品の分類および表示に関する世界調和システム; GLP - 優良試験所規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KEGI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度 (半数致死量); LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に規定のない限り; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoG - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 米国; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム